

かゆみケアの新ブランド

成分厳選肌に優しく

ジャパンメディック

外用剤メーカーのジャパンメディック(富山市横越、前田和也社長)は、肌のかゆみケアに特化した新ブランド「ホームメディック」を立ち上げた。有効成分を厳選したかゆみ止めや保湿剤を取りそろえ、かゆみの根本的な解消につなげる。複数の商品をラインナップしたブランドの立ち上げは同社として初めて。

(村田美七海)

ジャパンメディックによると、加齢やストレス、生活習慣が原因のかゆみに悩む患者は多いものの、慢性的なかゆみに中長期で向き

合う手法は広く普及していないという。社内にチームを作り、約3年をかけて「かゆみ止め」「保湿剤」「石けん」「サプリメント」を

開発した。

近年はマーケティング戦略として、多品種の有効成分配合を売りにするOTC医薬品が多い。一方で、副作用のリスクや、複数の成分を溶かすために肌に悪影響を及ぼす可能性がある原料を入れる必要があるなど、デメリットもあるという。ステロイドなど効き目が強い成分に絞る、肌に優しい製品を実現した。

同社は本社横に液剤工場と倉庫を新設し、4月から稼働。既存工場ではクリーム剤や軟膏剤のラインを増強し生産体制を強化している。インバウンド需要

の回復もあり、受注は好調だ。

新ブランドの製品は自社サイトでのみ販売し、薬

剤師が監修したかゆみに関する知識を学べる漫画などかゆみの原因特定やケアに役立つ情報も提供する。

前田社長は「これからの時代はすぐに病院にかかるのではなく、セルフケアで問題を解決することが重要になる」とし、「新ブランドでセルフメディケーションの前進に貢献したい」と話した。



新ブランドの特長を説明する前田社長。パッケージはシンプルなデザインを採用した＝ジャパンメディック